

大きな宝物

下吉田中学校

土屋 一貴

19 人の仲間と一緒に過ごした9日間は僕にとって一生忘れることのない大きな宝物となりました。最初に他のメンバーと顔合わせをした説明会ではまったく知らない人ばかりでこれから本当に大丈夫なのかと思う時もあったけど、事前研修会でのソーラン節の練習やアイスブレイクなどを通して他の学校の人たちとも気軽に話せるようになり安心してアメリカに行くことができました。3度目の海外渡航ではあったけど人生で初めてのホームステイというものに大きな期待と、その反面大きな不安を持ちながら出発の日になりました。そして家を出発しようとしたその時、大きなハプニングが起きました。キャリーケースの鍵が割れてしまったのです。でも祖母が出発場所に持ってきてくれて、なんとかギリギリ間に合って出発することができました。初日からかなりドタバタしていましたが、無事、日本を出国することができました。そして飛行機に10時間揺られてコロラドに着いた時一番に思ったのが「広いなあ」でした。見渡す限り家や建物もほぼなく、見渡す限り地平線で平和で静かな所だなあというのを強く感じるすることができました。そして僕が一番心配していた入国審査がありました。始まる前は「何て聞かれるのかな」とか「大丈夫かな」とか思っていました。終わってみれば特に問題もなく無事入国することができました。そして、そこから1時間かけ、コロラド・スプリングス市へと向かいました。車窓からはアメリカの雄大なスケールの自然や、きれいで大きな家を見ることができました。そして待ち合わせしている家に着くと、全員のファミリーのみなさんが待っていてくれました。そしてそこでファミリーとの顔合わせとなりました。約1か月前からファミリーとはメールを通して色々な話をしていたので実際に会った時には大きな感動もありました。そしていよいよファミリーの方々との楽しい5日間がスタートしました。一番心配していた会話ができるのかということでしたが、思っていたより意思疎通ができてなんとか不便もなく過ごすことができました。ファミリーの方々にはカヌーや乗馬体験などに連れていってくれてとてもいい経験になりました。そうしてファミリーの方々とお過ごししていく中でアメリカと日本との違いを大きく分けて3つ見つけることができました。

1つ目は、何においても「広い」「デカイ」ということでした。まず驚いたのが家の大きさでした。日本ではありえないくらい家もデカイし、庭もトランポリンが置いてあるくらいなので相当広かったです。そして何よりも「食べ物」がありえないくらいのものでした。ファミリーに食べさせてもらったステーキは日本では3人前くらいあるのではないかと思います。その分本場のハンバーガーはめちゃくちゃデカかったけど、めちゃくちゃ美味しかったです。

2つ目は、日本人以上に心優しいということでした。実際にそれを体感する出来事がありました。それは車で走っている時に前の車が落とした帽子をわざわざ車から降りてそれを

車の人まで届けてあげるというものでした。もしそれが日本ならそんな事があっても無視する人が多いと思います。アメリカ人は怖くてあまり親切ではないという勝手な想像をしていたけれど、まったくなくなりました。むしろアメリカ人の方が日本人より「おもてなし」の心があると思いました。

3つ目はゲームセンターです。これは僕の一番の思い出と言っても過言ではありません。日本のゲームセンターより何十倍も何百倍もおもしろかったです。アメリカでは日本と違いカードを集めてそれに応じた景品と交換するというものでした。短い時間であまりいい景品はもらえなかったけど間違いなく日本のゲームセンターよりおもしろかったです。

この19人の仲間と過ごした9日間は僕の人生においてとても大きな価値を持った時間となりました。この経験をこれからの人生、学校生活に活かしていきたいです。またこの姉妹都市派遣事業に協力してくださった渡邊さんをはじめとする市役所の方々、尾上先生、家族そして何よりファミリーの方々に大きな感謝をしたいと思います。事前研修からアメリカでの9日間、本当にありがとうございました。